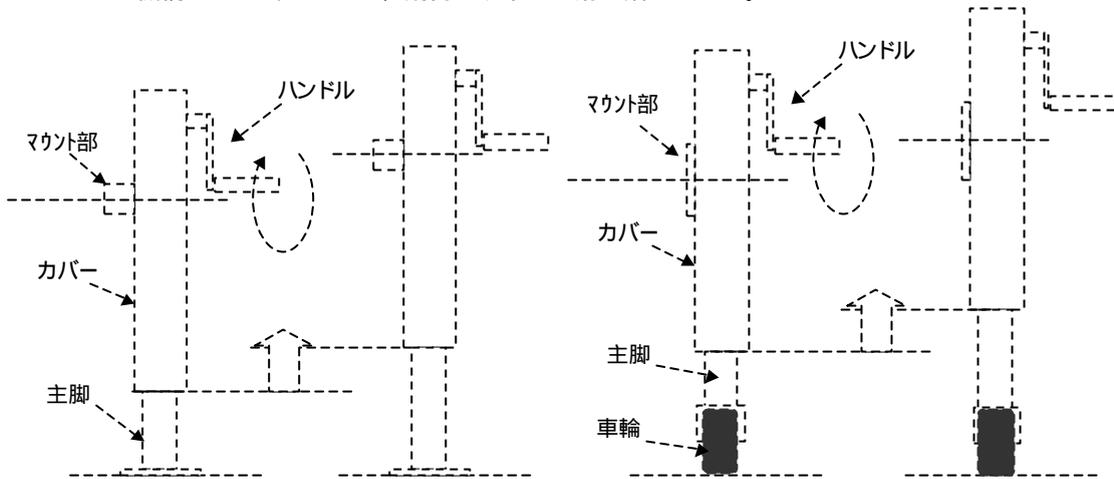


(参考)

使い方

ハンドルを回す事でジャッキが上下します。上下するのは主脚ですが、対象となる高さはマウント部分です。ご注意ください。

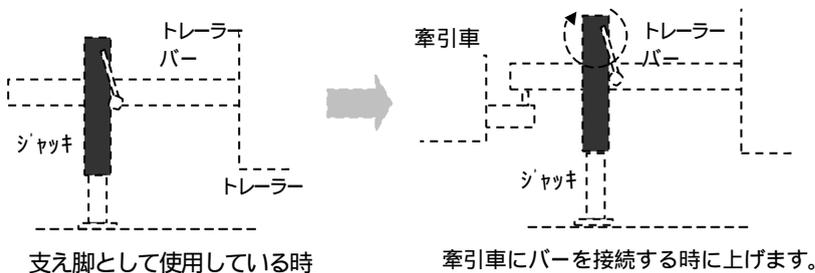
脚やマウントの形状、及びハンドルの位置が変わっても基本的な所は変わりません。ジャッキの機構はネジ式ですので、耐荷重以下なら滑り落ちません。



ジャッキの仕事

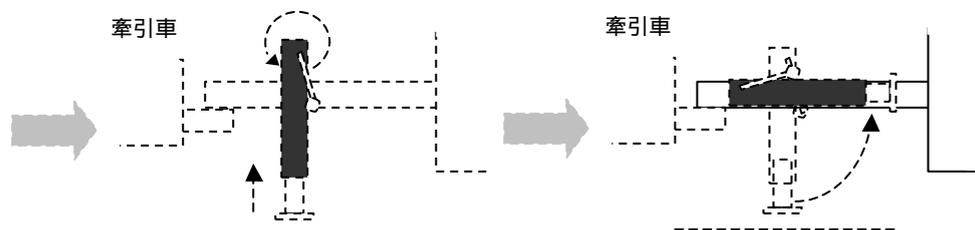
工業用ジャッキ、トレーラージャッキ共に、支え脚であるということが仕事です。支え脚として使用しない時は走行の邪魔にならないため、収納する必要があります。

脚を収納する際は、チューブタイプのマウントはピンを抜く事で本体がチューブから外せます。プラケットマウントタイプは、ストッパーレバーを引きながら本体を回転させます。



支え脚として使用している時

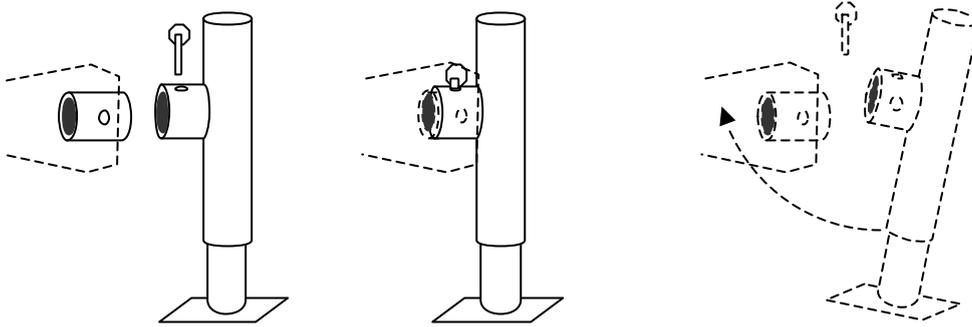
牽引車にバーを接続する時に上げます。



バーを降ろしてそのまま主脚を上げてから、マウントからピン或はストッパーを抜きます。

本体を90°回して収納し、再びピン或はストッパーをマウントに戻します。

マウントのタイプ
チューブ溶接タイプ



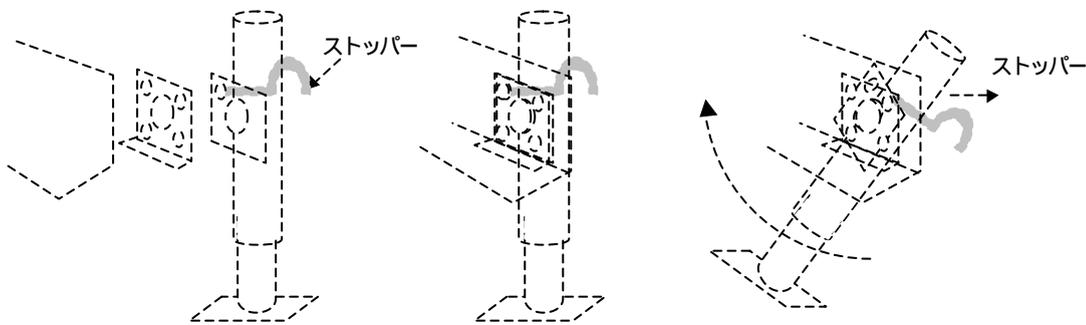
チューブタイプは、チューブだけを対象に直接溶接します。穴の位置に充分配慮します。

このチューブに本体を差し込みピンで止めます。

収納する時は、ピンを抜き、一旦本体をチューブから抜いて90°横にはめかえ再びピンで止めます。

ブラケットマウント溶接タイプ

(写真では見えませんが反対側にストッパーのレバーがあります。ブラケットは通常ストッパーで止まっています。このストッパーは本体から外れませんがスプリング付です。)

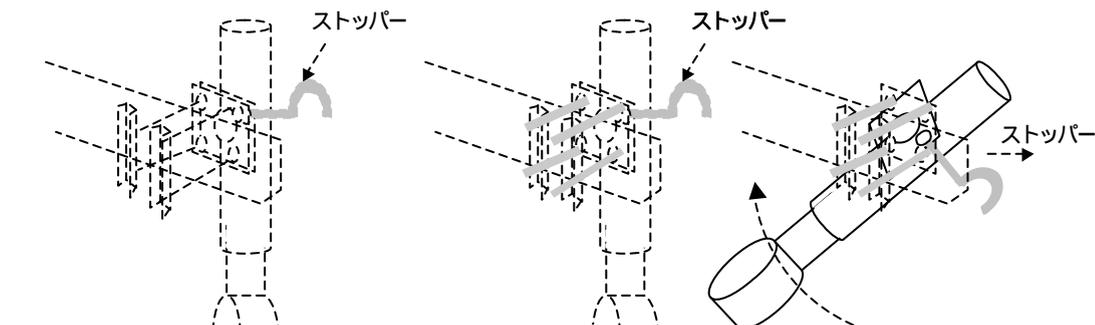


ブラケットマウントだけを対象に直接溶接します。マウントはスプリングで止められていますのではずせない事はありません。

支え脚として使用する時もマウントの穴にストッパーがしっかりはまっている事を確認してください。

収納する時は、ストッパーを引きながら、本体だけを90°横に回してください。回し終わったらストッパーを戻し穴にはめます。

EA993MT - 3, - 5, - 6はさみ込み式ブラケットタイプ



ブラケットマウントに付属するプレートをボルトナットでバーに固定します。

支え脚として使用する時もマウントの穴にストッパーがしっかりはまっている事を確認してください。

収納する時は、ストッパーを引きながら、本体だけを90°横に回してください。回し終わったらストッパーを戻し穴にはめます。

